

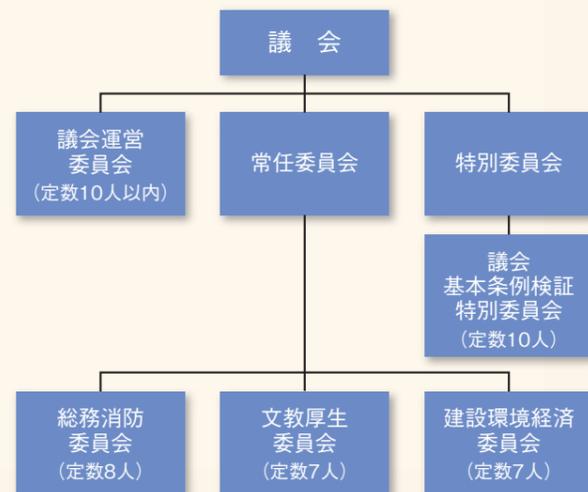
市議会(議員22人)は、まちづくりに関する予算の決定や条例の制定など、さまざまな議案を審査する機関です。定例会(年4回)と委員会、必要に応じて臨時会を開いています。  
 議会は傍聴できるほか、代表・一般質問の様子をホームページで閲覧でき、広く市民に公開することで市民の声を市政へ反映できるような議会運営に努めています。



執行部側



議員側

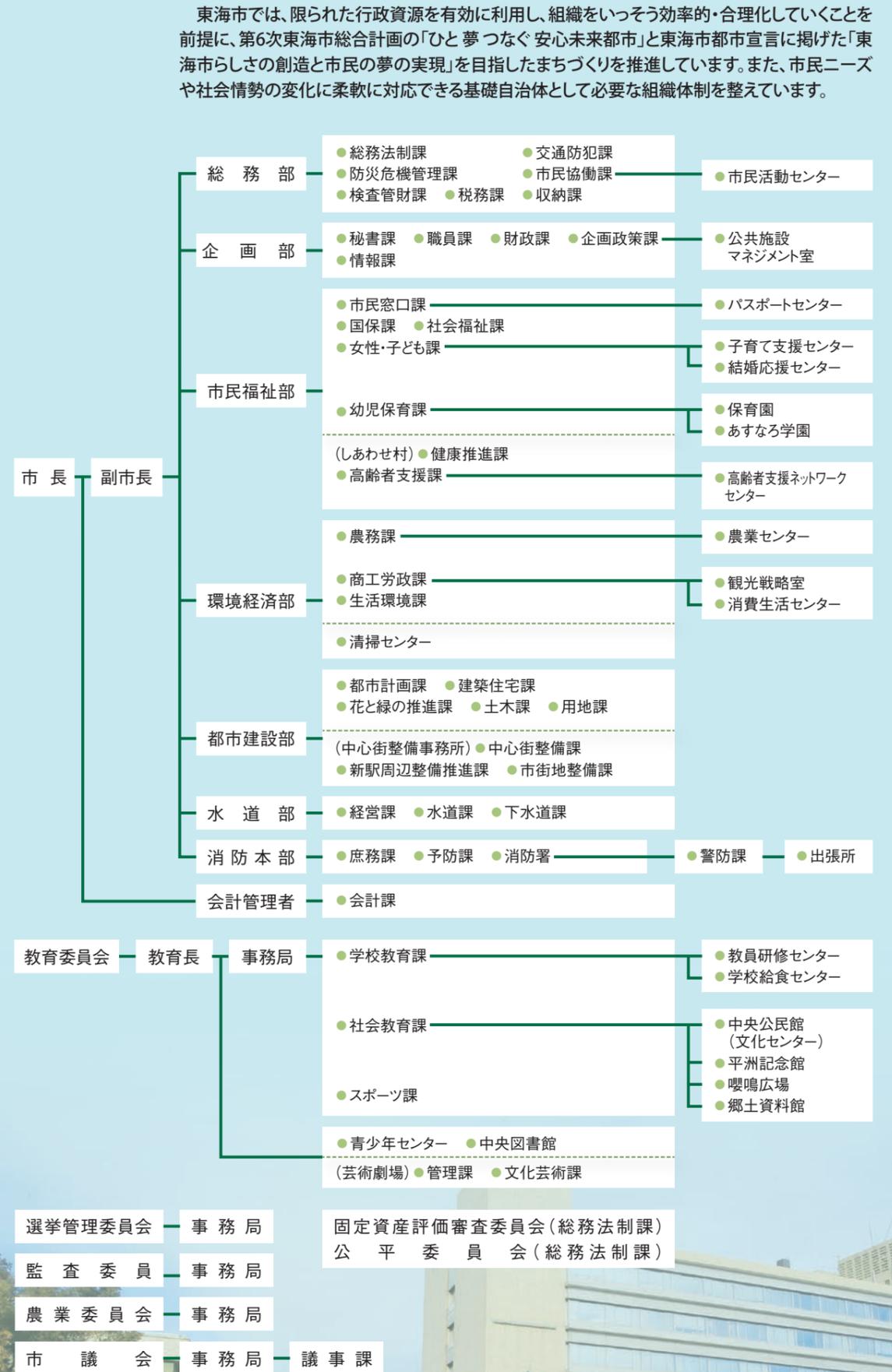


Tokai City Council

Tokai City Council (with 22 members), is a body that examines various bills. It sets city development budgets and enacts ordinances. It convenes regularly 4 times a year, and additionally when needed, and holds committee meetings.  
 In addition to attending meetings directly, citizens can view representative and general questions on the home page. The city council strives to be as open as possible to citizens, so that their voices are heard and reflected in city governance.

議会「市議会紹介」

東海市の組織図



Tokai City

# ひろがる交流、深まる絆

## 姉妹都市 Sister Cities



ニルフェル区



釜石市  
米沢市  
東海市  
沖縄市

マセドンレンジズ市

**トルコ共和国**  
ブルサ市ニルフェル区

提携年月日 平成19年(2007年)5月10日

### ニルフェル区の概要

ブルサ市は、イスタンブールから南へ直線距離で100kmのトルコ北西部の都市であり、ニルフェル区はブルサ市の中でも西側にあり、標高2,443mのウル山のもとに広がる地区です。日本庭園が、東海市との友好の象徴となっています。

### 提携までの経緯

平成15年9月、トルコ共和国が愛知万博一市町村一國フレンドシップ相手国に決定し、万博期間中はさまざまな交流事業を行いました。平成18年1月、東海フレーザーショウにてトルコタイル贈呈式・洋ラン命名式を開催。同年7月には、姉妹都市提携先調査団を派遣。10月には東海市議会会派代表がニルフェル区を視察。平成19年1月、ニルフェル区長始め8人が東海市を来訪し、姉妹都市の提携が確認され、同年5月10日にブルサ市で姉妹都市提携の調印式が行われました。



ニルフェル区の街並み



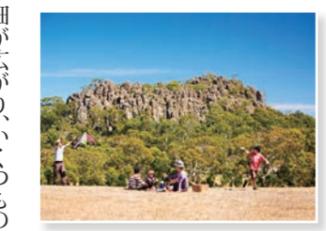
ニルフェル区内の日本庭園

**オーストラリア連邦**  
マセドンレンジズ市

提携年月日 平成26年(2014年)10月16日

### マセドンレンジズ市の概要

マセドンレンジズ市は、メルボルンから車で北西へ1時間ほどの場所にあり、主要産業は観光業と農業です。火山噴火でできた山であるハンギングロックを始めとした豊かな自然と古い町並みを主要な観光資源として、年間を通じてお祭りや芸術、文化などのイベントが開催されています。



ハンギングロック

また、丘陵地帯にはぶどう畑が広がり、いくつものワイナリーが点在し、近年ではワイン産地として知られています。

### 提携までの経緯

平成14年から東海市国際交流協会を中心に相互の市の訪問と交流を行い、友好を深め、平成23年度からは、毎年本市の中学生がマセドンレンジズ市でホームステイを行なっています。



マセドンレンジズ市の街並み

さまざまな交流を経て、平成25年9月に姉妹都市提携に向けた覚書を締結し、平成26年10月16日に、マセドンレンジズ市にて姉妹都市提携の調印式が行われました。

**山形県 米沢市**

提携年月日 平成12年(2000年)10月20日

### 米沢市の概要

米沢市は、磐梯朝日国立公園の中心をなす吾妻連峰を有し、豊かな自然に恵まれ、特色ある歴史と文化が息づくまちです。山形県南部に位置し、昔から置賜地域の中心都市として発展してきました。

### 提携までの経緯

細井平洲先生が、米沢藩主・上杉鷹山公の師であったという歴史的な縁により、昭和59年から市民交流が始まりました。

平成7年から始まった平洲サミットや平成11年の市制30周年記念式典に米沢市長を招待するなど行政の交流も盛んになる中、平成12年に本市では細井平洲没後200年祭を、平成13年には米沢市で上杉鷹山生誕250年祭を開催するなど、それぞれの市が歴史的に大きな節目を迎えることから、姉妹都市提携の機運が高まり、平成12年9月に両市議会、それぞれ姉妹都市提携議案が議決され、同年10月20日に東海市で姉妹都市提携の調印式が行われました。



対面の像(普門院)



川中島の合戦の様子(上杉まつり)

**岩手県 釜石市**

提携年月日 平成19年(2007年)3月24日

### 釜石市の概要

釜石市は、近代製鉄発祥の地であり、また、世界3大漁業の1つ、三陸漁場の漁業基地として発展してきました。平成23年3月11日の東日本大震災による津波で大きな被害を受けましたが、橋野鉄鉱山の世界遺産登録やラグビーワールドカップ2019TMの開催都市になるなど、復興を遂げています。



釜石鶴住居復興スタジアム

### 提携までの経緯

昭和39年、釜石製鐵所から東海製鐵所へ従業員745人(家族を含め2,279人)が転勤。「民族の大移動」とも言われ、昭和44年までに約1,700人の従業員が転勤しました。昭和59年、釜石市のバレーボールチームが東海市を訪問して行われたスポーツ交流を皮切りに、さまざまな交流が行われ、平成15年と平成18年に災害時のために備え、相互応援協定を締結し、平成18年12月に両市議会、それぞれ姉妹都市提携議案が議決され、翌年3月24日に釜石市で姉妹都市提携の調印式が行われました。



郷土芸能「虎舞」

**沖縄県 沖縄市**

提携年月日 平成21年(2009年)11月20日

### 沖縄市の概要

沖縄市は、沖縄返還から2年後の昭和49年4月に、旧コザ市と旧美里村が合併して誕生しました。沖縄本島のほぼ中央部の東海岸側にあり、中部地域の中心都市として重要な役割を果たしています。

### 提携までの経緯

沖縄市の前身である旧美里村と東海市は、美里村職員が横須賀町で行なった研修から行政の交流が始まりました。旧コザ市と旧美里村の合併により、一旦は交流が途絶えましたが、その後再開し、昭和62年に中学生親善交流事業を開始して以来、中学生の交流が続けられています。近年ではエイサー招待、物産交流、中学2年生全員による沖縄体験学習の実施、災害時相互応援協定締結など幅広い分野で交流が行われています。平成21年9月に両市議会、それぞれ姉妹都市提携議案が議決され、同年11月20日に沖縄市で姉妹都市提携の調印式が行われました。



エイサーの様子



ピースフル・ラブロックフェスティバルの様子